



生活の現場からスタートして45年 市民の発言が政治を変える

政治の主役は 私たち市民です

少子高齢、人口減少社会に突入した今日、未来への希望を描くには、市民自らの力で変えていくことが必要です。

1977年、「食の安全をまもる」「環境をまもる」などの活動に取り組む女性たちが、「生き方を変えよう」のスローガンをかけ、都議選に挑戦、生活者ネットワークの前身「グループ生活者」を結成。

1979年、練馬区議会に初めての議員(代理人)を送り出し、現在まで15人の女性が練馬区議会議員、2001年～09年には一人の女性が都議会議員をつとめました。

1988年、練馬・生活者ネットワークへ。私たちは一貫して、生活の現場からの声を政策決定の場につなぎ、政治を変えてきました。

生活者ネットの 提案で実現!

子どもの権利を保障する

- ・プレーパーク(冒険遊び場)の拡充
- ・「化学物質子どもガイドライン」の策定を要望。都独自基準を設定
- ・東京都子ども基本条例制定
- ・区立小中学校の男女混合名簿の採用

介護は社会のしごと

- ・区民参加で介護保険条例制定
- ・ケアラー支援条例の制定を提案
- ・在宅介護を支える地域の介護事業所への支援充実
- ・ヤングケアラー支援開始、充実

食の安全をまもる

- ・1987年区議会に食品安全条例制定を求める請願書を提出
- ・1989年東京都に食品安全条例の制定を求める直接請求運動に取り組む(署名数55万筆)。2004年東京都食品安全条例制定
- ・1997年学校給食に遺伝子組み換え食品を使わない陳情署名運動に取り組む



▲2022年「ゲム編集食品・植物を学校や保育園、介護福祉施設等で使用しないことなどを求める陳情書」署名活動

脱原発! 再生可能エネルギーをふやす

- ・2012年原発の是非を問う都民投票条例を求める直接請求運動に取り組む(署名数331,809筆)



▲2006年「生活者ネット9条の会」を結成し18年。練馬駅で毎月9日、「戦争はしない 原発はいらない」をかけた、スタンディング

環境をまもる

- ・練馬区リサイクル推進条例制定
- ・容り法見直しと2R促進を求める国会請願活動(2回目署名数394,165筆で採択)。プラスチック資源循環法に採用
- ・練馬区役所プラスチック削減指針の作成、ゼロカーボンシティ宣言
- ・区立施設にマイボトル用給水機を設置(現20カ所)
- ・ペットボトルのない自販機の設置
- ・「香害」を啓発するリーフレットを区が作成。公共施設への配置と区立小中学校で配布

女性の視点で防災・減災

- ・練馬区地域防災計画を策定
- ・女性防災リーダーの育成、配置



▲2024年3月、春休み親子企画「光が丘公園の防災ウォッチング」

市民自治、議会改革をすすめる

- ・議員年金、日額旅費(交通費)の廃止。政務活動費の公開
- ・市民活動推進法請願活動がNPO法成立につながる
- ・労働者協同組合法施行

練馬・生活者ネットワークのルール

1. 議員を職業化せず、特権化しないために、議員はローテーション(交代)します。
2. 議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
3. 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

◎カンパを募集しています。
カンパ振込先【郵便振替】00100-6-398010 練馬生活者ネットワーク